

環境調査結果のお知らせ

平成29年5月2日午前10時半から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温19~20℃、塩分34~35、溶存酸素量6~9mg/lでした。

透明度は3~6mで、有害種のヘテロシグマ・アカシオ、ケラチウム属、有毒種のアレキサンドリウム属が確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温18.7~20.3℃、塩分33.5~34.9でした。

前回調査時(H29.4.21)と比較して、水温は全層で0.5~1.5℃上昇しました。塩分は全層で0.1~1.6上昇しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量6.2~8.8mg/lでした。

前回調査時と比較して、溶存酸素量は全層で0.4~0.7mg/l減少しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は3.0~6.0mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で39cells/ml、ケラチウム属が最高で3cells/ml、麻痺性貝毒の原因となるアレキサンドリウム属が最高で2cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

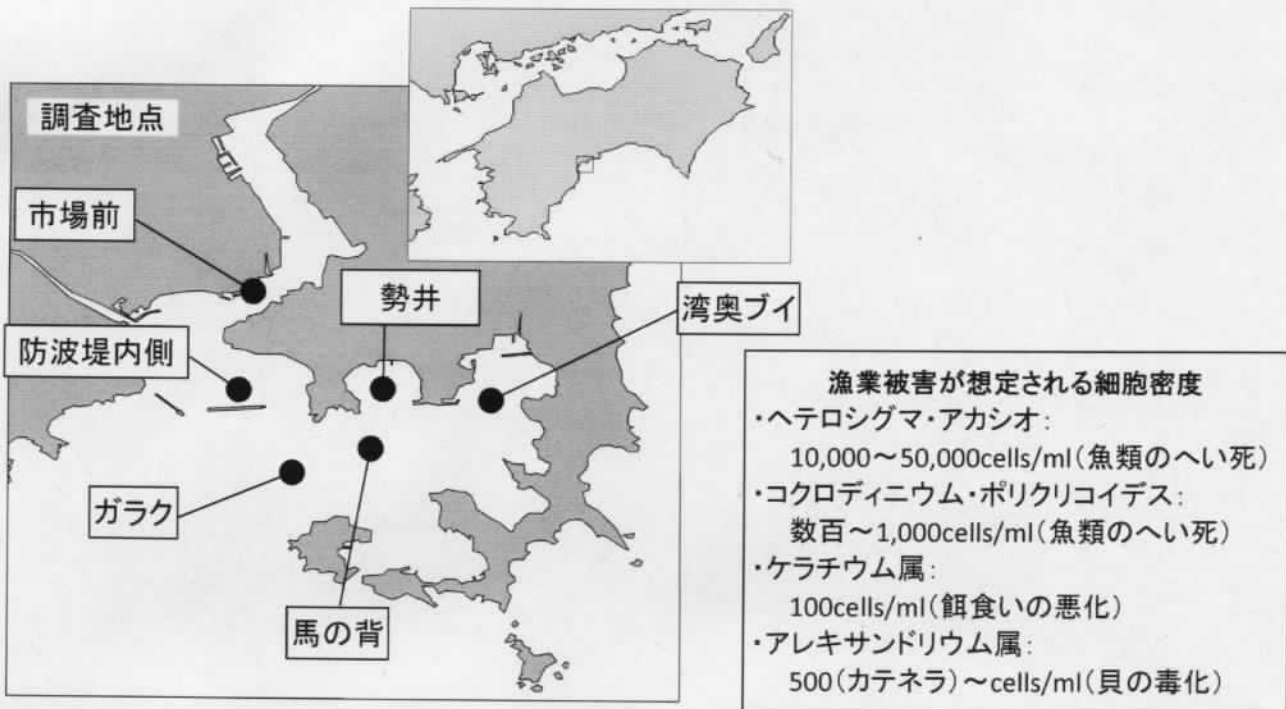


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H29.4.21)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	20.3	20.0	19.8	19.8	20.0	18.5	1.5	19.9
2m	20.1	19.9	19.7	19.8	19.9	18.5	1.4	19.8
5m	19.5	19.7	19.5	19.5	19.6	18.4	1.2	19.6
10m	19.1	19.3	19.4	19.1	19.3	18.5	0.8	19.3
B-1m	18.9	18.7	19.2	19.0	18.9	18.4	0.5	19.1

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H29.4.21)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	34.0	34.5	34.4	33.5	34.3	32.7	1.6	33.4
2m	34.1	34.5	34.5	34.1	34.3	33.0	1.3	33.9
5m	34.4	34.6	34.6	34.5	34.5	33.6	0.9	34.3
10m	34.6	34.7	34.6	34.7	34.6	34.1	0.5	34.7
B-1m	34.8	34.9	34.8	34.8	34.8	34.7	0.1	34.7

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H29.4.21)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	8.2	7.4	7.7	8.2	7.7	8.3	▲0.6	8.1
2m	8.3	7.4	7.5	8.3	7.7	8.4	▲0.7	8.1
5m	8.8	7.8	7.1	8.0	7.9	8.3	▲0.4	7.8
10m	7.8	7.7	7.1	7.5	7.6	8.0	▲0.4	7.4
B-1m	6.2	6.4	7.1	6.6	6.6	7.1	▲0.5	6.9

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.4	24.6	15.3	15.6	13.8
透明度	5.6	5.0	6.0	4.0	3.0
前回(4/21)	4.5	6.5	7.5	4.5	4.0

表5 プランクトン(cells/ml)

		ヘテロシグマ・アカシオ	コクロディニウム・ポリクリコイデス	ケラチウム属	アレキサンドリウム属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	25	0	0	0	25
	2m	39	0	0	0	39
	5m	26	0	0	2	86
馬の背	0m	38	0	0	0	127
	2m	31	0	0	0	122
	5m	15	0	0	0	178
ガラク	0m	11	0	0	0	143
	2m	5	0	0	0	148
	5m	10	0	0	0	88
津波防波堤内側	0m	22	0	0	0	410
	2m	5	0	0	0	243
	5m	0	0	0	0	104
市場前	0m	4	0	0	0	289
	2m	4	0	1	0	199
	5m	2	0	1	0	75
勢井	0m	4	0	0	0	91
	2m	4	0	3	0	85
	5m	3	0	1	2	112